



市長 からの 手紙

⑤新生活に向けて

4月、夢や目標を持ち新生活を始める人が多い季節です。川越市も昨年、市制施行90周年を迎え、これから100周年に向け新たに一歩ずつ踏み出していきます。90周年記念事業の「JAXA タウンミーティング&コズミックカレッジ」では、宇宙飛行士の油井亀美也さんが、子どもたちに夢に向かって歩む大切さを話されました。

私も、中学生の頃、天文に興味があり口径8cmの反射望遠鏡を買って夜空を眺めていました。初めて自分の目で土星の環を見たときの感動は今でも覚えています。夜空を見るのは2年間くらいで止めてしまい、その後はどちらかというと人間社会について興味に移り、現在は天文とは直接関わりの無い仕事をしています。けれど、今でも天文や宇宙に強い関心があり、

ときどき NASA(アメリカ航空宇宙局)のホームページをのぞきます。最近、火星探査機「キュリオシティ」が送ってくる映像や、ハッブル宇宙望遠鏡が捉えた映像に注目しています。

火星探査機「キュリオシティ」が地球に送ってくる火星地表の映像は、地球上のどこかの砂漠の一面を映したかと錯覚するような、われわれになじみのある風景です。火星生命の痕跡が必ず発見されるだろう、と期待しています。

ハッブル宇宙望遠鏡は、最近、宇宙誕生から5億年後くらいの、極めて初期の銀河の姿をとらえた、と NASA のホームページは伝えています。初期の銀河が写っている写真は、一枚の画像の中に1万を超す銀河が写っているそうです。宇宙の年齢はおよそ137億年。画像に写っている無数の銀河を眺めながら、この銀河の130億年後、すなわち現在はどうなっているのだろうか、生命を育む惑星もかなりあるのだろうか、など思いをはせていると未来や目標に向かう気持ちを新たにできます。

新たな生活環境の中でさまざまな困難も多いと思います。そんなとき、広大な宇宙をのぞいて気持ちを切り替え、有意義な新生活を送っていただきたいと思います。

川越市長 川合善明

❖はじめませんか？ みどりのカーテン❖

建物に張ったネットに、アサガオやゴーヤなどつる性植物を這わせて日陰を作る「緑のカーテン」。最近、節電意識の高まりもあり、よく見かけるようになりました。「緑のカーテン」は、室内の温度上昇を抑える以外に、実を収穫する喜び・安らぎなど心理的效果もあります。栽培を始めるのは、4月下旬から5月中旬が最適。市販されているもので簡単に作れます。皆さんも植物の力で夏を涼しく過ごしてみてはいかがでしょうか。



福島喜代江さん(大塚2丁目)

環境政策課 ☎224-5866



ふだん着屋(府川)

今年度も「緑のカーテン・コンテスト」を開催します。詳しくは、広報川越、市ホームページでお知らせします。

緑のカーテン講座

挑戦してみたいけど、育て方がよくわからない…そんな方向けの講座を開催しています。詳しくは、7ページをご確認ください。

みんなので支えよう 大切な人

高齢者いきがい課 224-5809

トキノ家の認知症介護奮闘記 その1

認知症は、脳の病気であり、誰もがかかる可能性があります。厚生労働省の統計によると、平成37年には65歳以上の約8人に1人が認知症になると推計されています。また、すぐに治るものではなく介護が必要になります。いざ介護にあたると、さまざまな苦勞に直面することも。そんな時、正しい知識があれば、適切な対応ができます。このコラムでは、妻が認知症になった架空の家族「トキノ家」と一緒に、認知症について学び、考えていきます。



トキノ家は70歳代の夫婦2人暮らし。夫のヒロシさんは妻のヤスヨさんのことで、近所に住む息子のノブオさんに電話しました。「最近、ヤスヨの様子に気になるんだよ」とヒロシさん。なんでも、昨日、ヤスヨさんがガスの火を付けっ放しにして、危う

く火事になるところだったとか。真っ黒な鍋が他にも見つかり、今までも焦がしたことがあることも分かりました。また、毎日スーパーでトマトばかり買ってきて、冷蔵庫はトマトだらけ。ヒロシさんは、どうして良いかわかりません。そこでノブオさんが、インターネットで調べてみると近くに「地域包括支援センター」という相談機関があることがわかり、さっそく電話。次の日、トキノ家に職員が来てくれることになりました。(次回へつづく)。

家庭教育のススメ

いきいき子育て 親育ち ①

地域教育支援課

TEL 224-6086

家庭教育は、全ての教育の出発点です。家族との触れ合いを通して、子どもが生活習慣や人への信頼感、豊かな情操、思いやり、善悪の判断、社会的マナーなど身につけるとても重要な役割があります。



市では就学期の子どもを持つ保護者向けに、家庭での教育の方法や悩みについての講座を開催し、子育てを応援しています。このコラムでは、講座で取り上げられた話題の中から家庭教育のポイントを紹介いたします。

家族の会話

子どもはぬくもりを求めています。また、家族の団らんは、休息

や、安らぎ、絆を強めるなど、親子が共に成長する効果があります。日頃から、家族の会話を増やしコミュニケーションを深めるようにして、子どもの心が豊かに育つよう心掛けましょう。新しい学校生活の始まりは、話題がたくさんあります。学校生活の話や話を聴くなどして、子どもと向かい合う時間を大切にしましょう。他にも次のような生活のちよつとした場面で、子どもとのコミュニケーションをとることができます。

- 一緒に買い物に行く
- 名前を呼んであげ、返事をさせる
- 子どもの感動を受け止め一緒に感動する
- 絵本などを一緒に読む

子どもの成長や変化に戸惑うことも多いと思います。子育ては大変ですが、同時に大きな喜びや楽しみもあります。親も子どもと一緒に成長していきましょう。

また、近所の子どもたちと目を合わせてあいさつすることなどから、周囲の大人も子育てを応援しましょう。

ごみ処理とぴくす

皆で守ろう きれいな集積所

資源循環推進課 239-6267

ごみの分別意識が浸透し、きちんと管理されている集積所が増えてきました。しかし中には、ルール違反のごみ出しによって中身が散乱してしまっている所



分別されず散乱したごみ

の協力が必要です。一人ひとりがルールを守り、きれいな集積所を目指しましょう。

- 正しく分別**…分別されていないと、品目が違ったりするとごみが集積所に残ってしまいます。
- ごみ出しは指定日の朝8時まで**…回収作業が終わった後に出されたごみは収集できません。
- 前日夜のごみ出しは厳禁**…カラスや猫など動物によるごみの散乱や火災などの原因になります。
- ごみネットの活用**…ごみの飛散などを防止します。保管は、豊んで危険がないようにしましょう。
- 定期的な清掃活動**…散乱したごみの放置は臭気の原因に。暖かくなるにつれ臭いも強まります。